

オートクローザセット 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

◎設置場所・位置について

- 外開きタイプは、開閉時に扉が公道（道路面）などへ飛び出さない位置に設置してください。

◎施工時の注意事項

- アルミ商品と銅板やガラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 施工前に雨水等にさらさないでください。
- オートクローザは必ず適正な閉まり強さ・速度に調整してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。



- 開き角度が小さい場合（約30°以下）、商品の特性上閉扉速度が速くなる場合があります。手や指がはさまれないように注意してください。

- 強風時に扉が風にあおられて閉まりきらない場合がありますので注意してください。



「スプリング窓カバー」は、「4. オートクローザの調整」まで絶対に外さないでください。
※内側のセットピンがはずれ、初期値が分からなくなる恐れがあります。



- 本商品は、「直付納まり」の門扉には取付けることができません。
- 本商品は、「ラッチ錠・プッシュプル錠」等の錠に対応しています。「内掛錠」には取付けることができません。



施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。



施工の際は、門柱セット、ヒンジセットに付属の施工説明書も合わせて参照してください。



この施工説明書では、「右勝手・内開き」の場合のイラストで説明しています。

もくじ

施工工事店様、販売店様へのお願い	1
梱包明細	2
開き勝手とオートクローザの取付位置	2
各部の名称・納まり図	3
1. 門扉の取外し	4
2. オートクローザの取付け	4
3. 門扉の吊り込み	5
4. オートクローザの調整	6
4-1 巻き込み作業前の確認	6
4-2 基本の調整	6
4-3 門扉速度の調整「※オートクローザ標準用（下ヒンジ用）」	7
4-4 初期値が分からなくなった場合	8
4-5 セットピンを外したまま門扉を開いてしまった場合	8
4-6 トラブルQ & A	8

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書とスプリングセット棒2本・予備セットピン1個は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談センター 0120-126-001

梱包明細

- 施工前に、部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を示しています。
オートクローザ標準用 (下ヒンジ用)	本体	オートクローザ下部 [L または R] (1)・クローザキャップ (1)・スプリング窓カバー (1)・セットピン (1) 裏板 (2)・M4 × 12 皿小ネジ (8) ※部品はオートクローザに取付済みです。	
	セット部品	六角棒スパナ (1)・スプリングセット棒 (2)・セットピン [予備] (1)・六角孔付き止めネジ (1) 施工説明書 [ME-2137] (1)	
オートクローザ追加用 (上ヒンジ用) ※大型タイプ・ 電気錠納まりにて使用	本体	オートクローザ上部 [L または R] (1)・クローザキャップ (1)・スプリング窓カバー (1)・セットピン (1) 裏板 (2)・M4 × 12 皿小ネジ (8) ※部品はオートクローザに取付済みです。	
	セット部品	六角棒スパナ (1)・スプリングセット棒 (2)・セットピン [予備] (1)・六角孔付き止めネジ (1) 施工説明書 [ME-2137] (1)	

開き勝手とオートクローザの取付位置

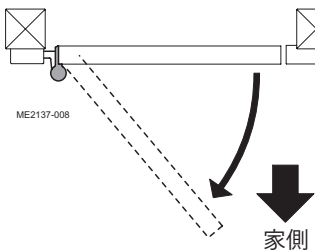
- 施工前に、必ず確認してください。



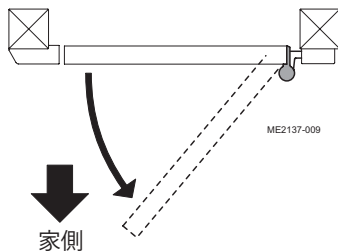
オートクローザは、門扉の「掛側」に取付けてください。🔧 はオートクローザの位置と向きを示しています。

片開き

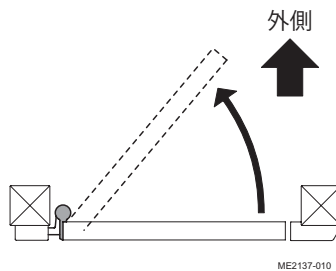
●右勝手・内開き



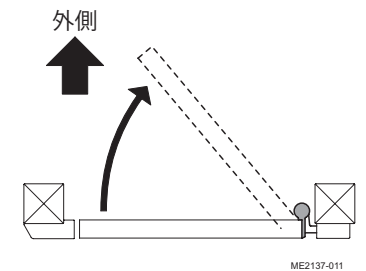
●左勝手・内開き



●右勝手・外開き

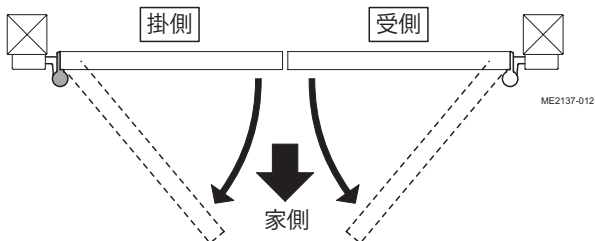


●左勝手・外開き

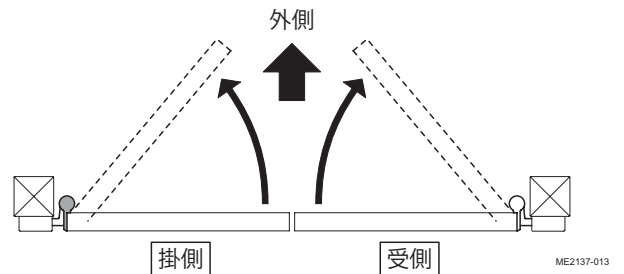


両開き

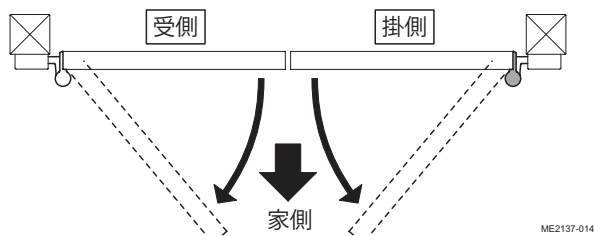
●右勝手・内開き



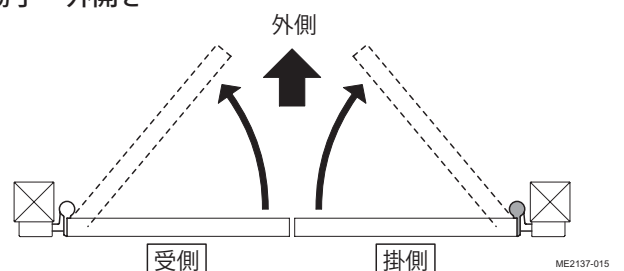
●右勝手・外開き



●左勝手・内開き



●左勝手・外開き



各部の名称・納まり図

- 施工前に、必ず確認してください。
- ここでは、外観視「右勝手・内開き」のイラストで説明しています。

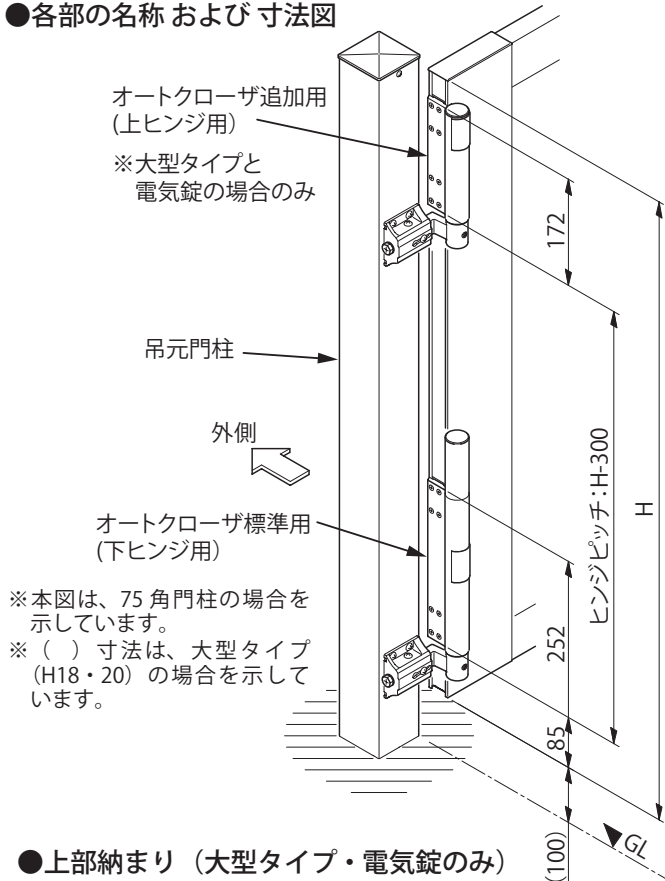
●オートクローザの作動範囲：0°～120° / 作動しない範囲：120°～180°

- ※作動範囲・作動しない範囲は標準値です。調整により若干異なります。
- ※作動しない範囲では、扉を任意の位置で止めることができます。
- ※門扉は180°以上開かないでください。破損の原因となります。

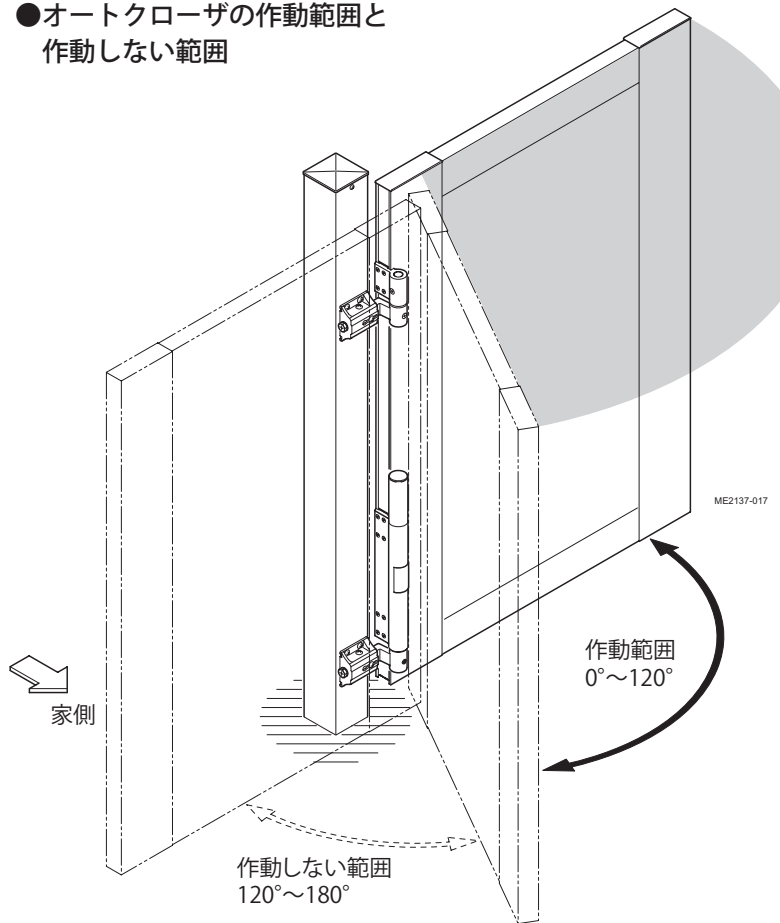
●門扉が大型タイプまたは電気錠の場合は、「オートクローザ追加用（上ヒンジ）」を追加してください。

●風当りの強い場所でオートクローザをご利用になる場合には、オートクローザ追加用（上ヒンジ）を追加してください。

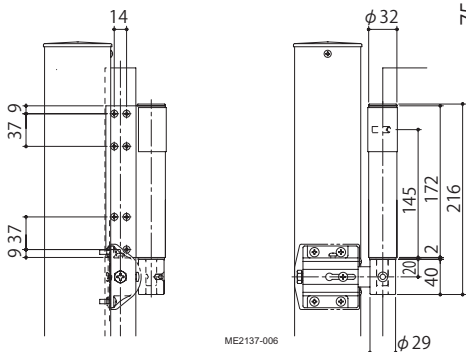
●各部の名称 および 寸法図



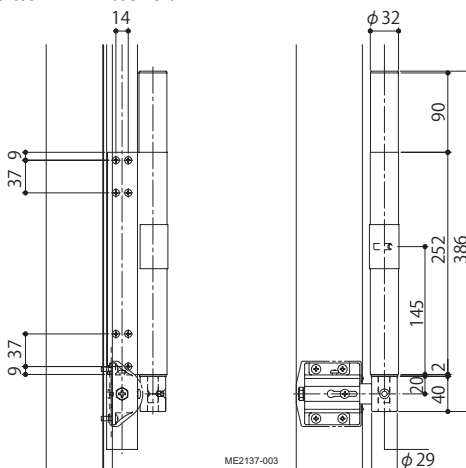
●オートクローザの作動範囲と 作動しない範囲



●上部納まり (大型タイプ・電気錠のみ)

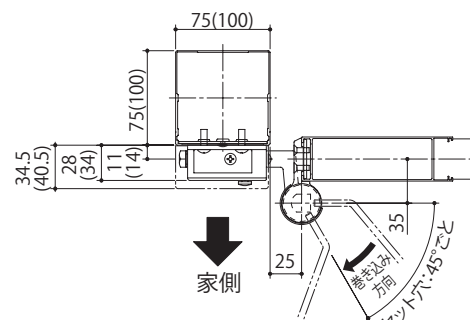


●下部納まり (標準)



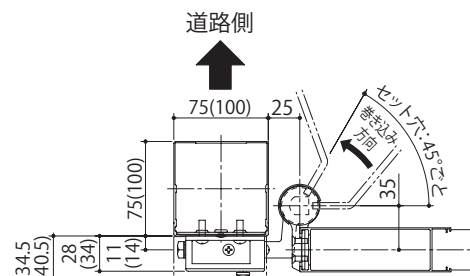
●内開き納まり

- ※本図は、75角門柱の場合を示しています。
- ※() 寸法は、100角門柱の場合を示しています。



●外開き納まり

- ※本図は、75角門柱の場合を示しています。
- ※() 寸法は、100角門柱の場合を示しています。



1 門扉の取外し

門扉が施工されていない場合

- 「2. オートクローザの取付け」に進んでください。

門扉が施工されている場合

- 下記を参照して、門扉を取外してください。



必ず、掛側門扉を取外してください。
※オートクローザは掛側に取付けます。

- ① 2ページの「開き勝手とオートクローザの取付位置」を参照し、門扉の「掛側」・「受側」を確認してください。
- ② 掛側門扉のヒンジから抜け防止ビスを外し、門扉を持ち上げ、取外してください。
- ③ オートクローザを取付けるヒンジの、持ち送りに取付けられているブッシュを取外してください。

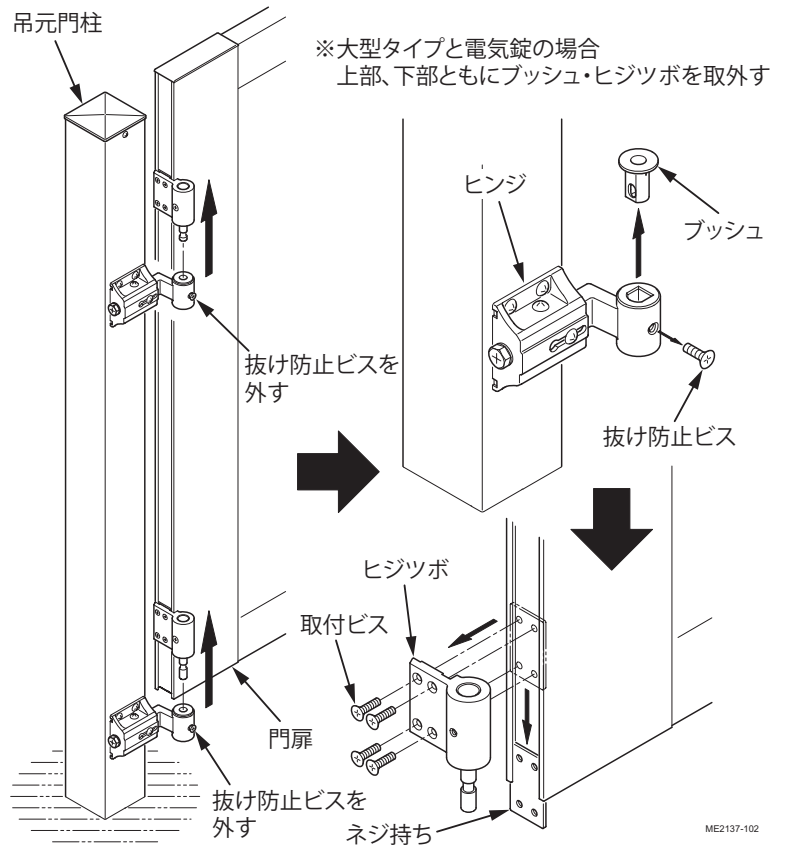


・標準用 : ヒンジ下のみ
・追加用 (大型タイプ・電気錠) : ヒンジ上下

- ④ 門扉下部からヒジツボを取外し、ネジ持ちをスライドさせて外してください。



・標準用 : ヒジツボ下のみ
・追加用 (大型タイプ・電気錠) : ヒジツボ上下



ME2137-102

2 オートクローザの取付け



「スプリング窓カバー」は、「4. オートクローザの調整」まで絶対に外さないでください。
※内側のセットピンがはずれ、初期値が分からなくなる恐れがあります。



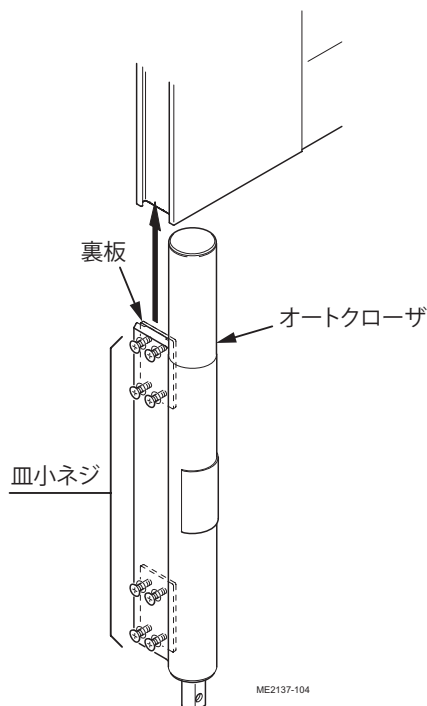
オートクローザは、工場出荷時に仮組みされています。



オートクローザの取付箇所
・標準 : 下部のみ1ヶ所
・大型タイプ または電気錠 : 上部・下部2ヶ所

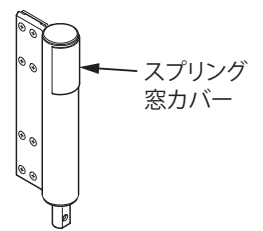
- ① オートクローザの皿小ネジを緩め、門扉の溝へ裏板を差し込んでください。

※大型タイプ・電気錠の場合は 上部も同様に行ってください。

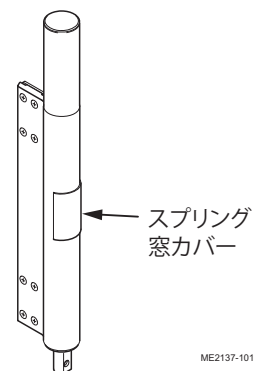


ME2137-104

● オートクローザ追加用 (大型タイプ・電気錠のみ追加)



● オートクローザ標準用



ME2137-101

②右図を参照して寸法を確認し、皿小ネジを締め付け、オートクローザを固定してください。



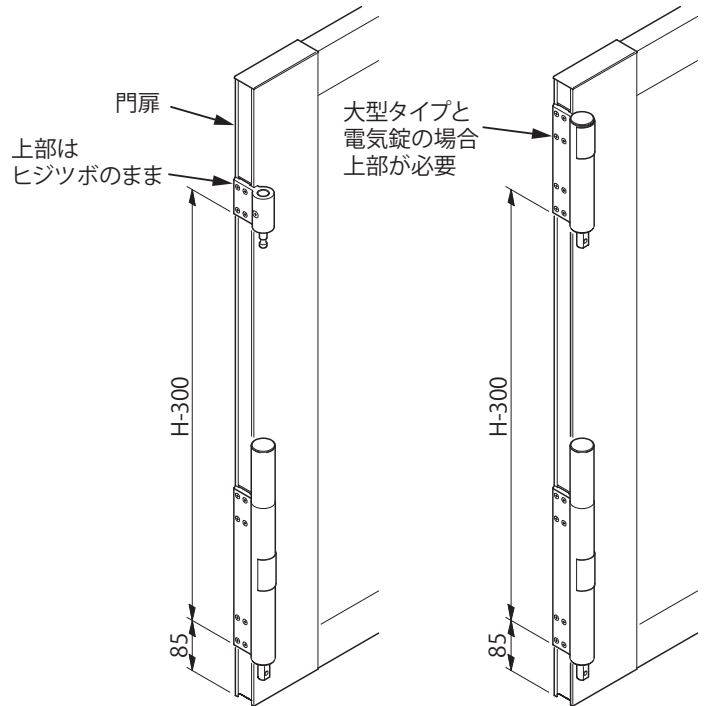
- 必ず大型タイプ・電気錠納まりの場合は、オートクローザ標準用+追加用（上下ヒンジ用）を取付けてください。
- オートクローザ追加用（上ヒンジ用）のみでの使用は出来ません。



風当りの強い場所でオートクローザをご使用になる場合には、オートクローザ追加用（上ヒンジ用）を追加してください。

標準
(下ヒンジ用のみ)

大型タイプ・電気錠
(上下ヒンジ用)



ME2137-105

3 門扉の吊り込み

①オートクローザの下部軸をヒンジのR穴に突き当たりまで差し込んでください。



標準用+追加用を差し込む際に下部軸の向きが合わない場合は、オートクローザ追加用（上ヒンジ）を回して向きを合わせてください。

②付属の六角棒スパナを使用して、付属の六角孔付き止めネジを締め付け、門扉を固定してください。

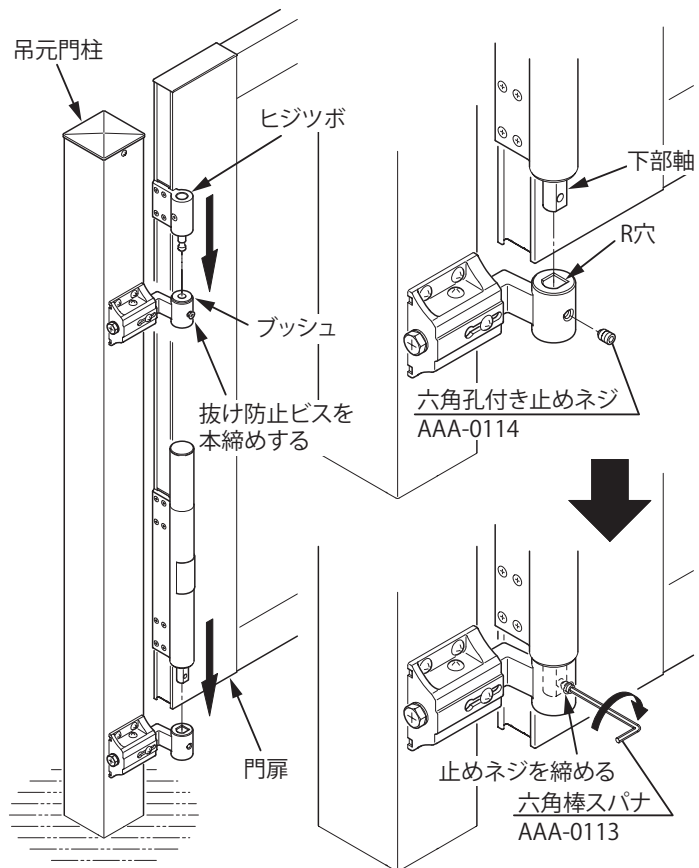


- ・標準用 : 下部のみ1ヶ所
- ・追加用 (大型タイプ・電気錠) : 上部・下部2ヶ所

③標準の場合、門柱上部のヒンジにはヒジツボを差し込み、抜け防止ビスを本締めしてください。



抜け防止ビスを確実に締め付けてください。



ME2137-106

※大型タイプと電気錠の場合
上部、下部ともに六角孔付き止めネジで取付け、締め付け

4 オートクローザの調整

●ここでは下部クローザ「右勝手」のイラストで説明しています。
※「左勝手」の場合は、左右対称になります。

△注意

- 自動で閉じかけている門扉を、無理に手で閉じないでください。
※オートクローザの破損の原因となります。
- 門扉を無理に 180° 以上に開かないで下さい。
※オートクローザの破損の原因になります。ただし、通常、門扉は 180° 以上には開きません。



- 雨水などがかからない状態で調整してください。
- 門扉を閉じた状態で調整してください。



開き角度が小さい場合、商品の特性上、閉じる速度が速くなる場合があります。

4-1 巻き込み作業前の確認

- ①スプリング窓カバーを外し、スプリング窓内の巻き込み部を露出させてください。
- ②右図を参照して、スプリング窓内の巻き込み部を確認してください。

△注意

セットピンを抜かないでください。
※セットピンが抜けると、初期値が分からなくなる恐れがあります。(セットピンが抜けた場合の対処方法は「4-4」参照)

- ③付属工具を確認してください。
- ④下表を参照して、セットピンを差し込む穴（セット穴）を確認してください。

●セットピンを差し込む穴（セット穴）

◇標準用 [下部のみ 1ヶ所の場合]

門扉サイズ巾 (mm)	セットピンを差し込む穴 (セット穴)
600・700	5 コ目
800	6 コ目
900・1000	7 コ目

◇追加用 (大型タイプ・電気錠) [上部・下部に 2ヶ所の場合]

門扉サイズ巾 (mm)	セットピンを差し込む穴 (セット穴)
600・700	4 コ目
800・900	5 コ目
1000・1100	6 コ目



上部・下部のセットピンを差し込む穴は必ず同じにしてください。
※破損の原因となります。

4-2 基本の調整

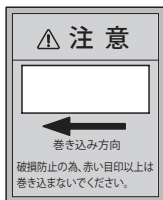
△注意

- セットピンを外した状態で門扉を開かないで下さい。
※オートクローザの破損の原因となります。万が一門扉を開いてしまった場合は、「4-5」を参照し対処してください。
- 門扉の取替え・調整等で、オートクローザを取外す場合は、必ず、逆の要領でスプリングの巻き込みを元に戻してください。
※スプリングの巻き込みを元に戻さないままオートクローザを取外すと、破損の原因になります。
- 調整後は、スプリング窓カバーで確実に塞いでください。
※雨水が侵入すると、オートクローザの故障の原因となります。



- 8巻以上を巻き込まないでください。
- 反対方向に巻き込まないでください。

●巻き込み方向指示ラベル

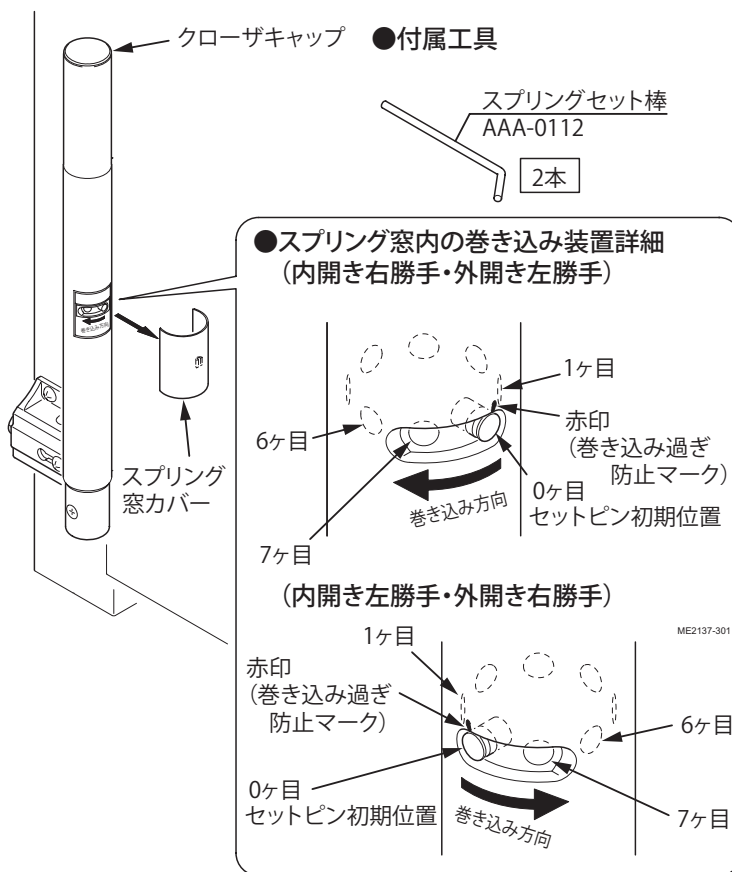


門扉用クローザ
「内開き、右勝手(R)」
「外開き、左勝手(L)」

△注意
・クローザ単体時、下部軸は回さないでください。
・クローザを門扉及びヒンジに取付け終るまでスプリング窓カバーは、はずさないでください。
パネの設定位置がズレる可能性があります。

※点線内の表示が左右勝手に変わります。

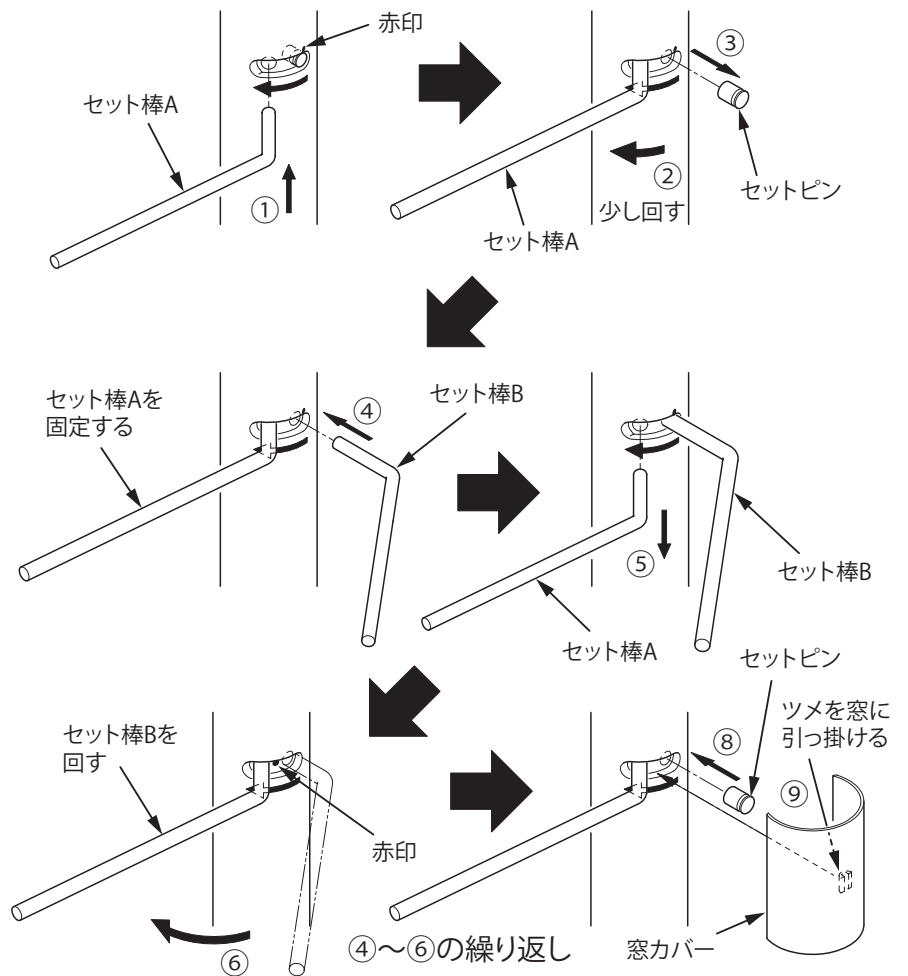
ME2137-016



ME2137-301

調整手順

- ① セット棒 A をあいているセット穴に確実に差し込んでください。
- ② セット棒 A を巻き込み方向に少し回してください。
- ③ セットピンを外してください。
- ④ セット棒 B を次のセット穴に差し込んでください。
- ⑤ セット棒 A を抜いてください。
- ⑥ セット棒 B を巻き込み方向に少し回してください。
- ⑦ 「手順④～⑥」を繰り返し、前ページの「セットピンを差し込む穴」が見えるまで巻き込み装置を回してください。
- ⑧ 「セットピンを差し込む穴」に、セットピンを再び取付けてください。
- ⑨ スプリング窓カバーを再び取付けてください。



4-3 門扉速度の調整「※オートクローザ標準用（下ヒンジ用）」

ME2137-302

注意

- 閉扉速度が速くなり過ぎないように調整してください。
※早くなり過ぎると、門扉にぶつかったり、はさまれたりするなど危険です。
- 調整後は、クローザキャップを確実に取付けてください。
※雨水が侵入すると、オートクローザの故障の原因となります。



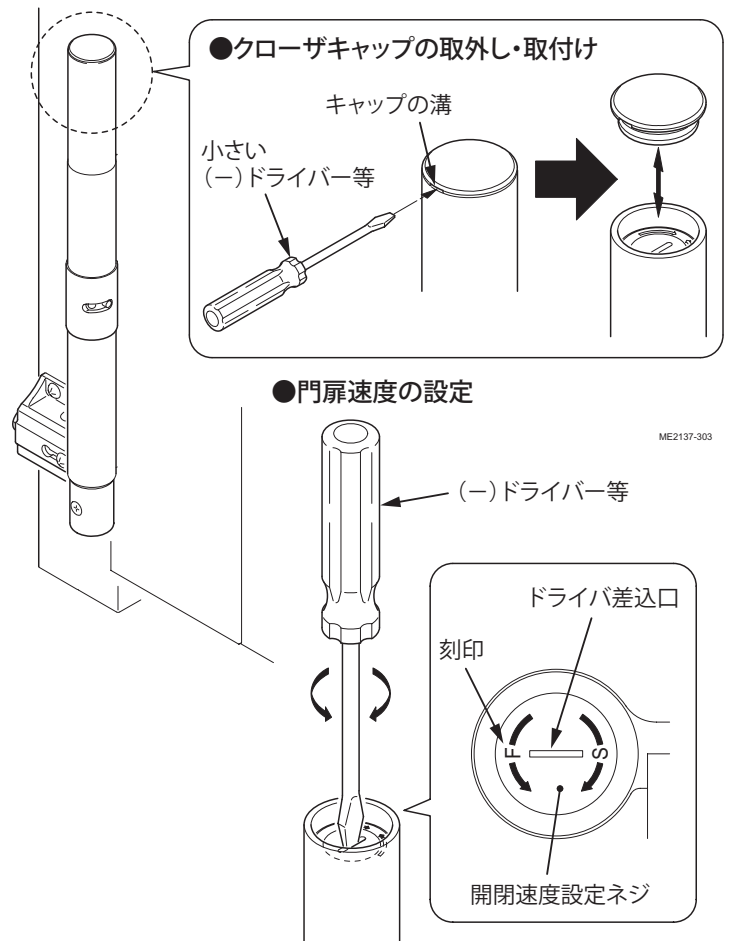
大型門扉・電気錠の場合は、下部クローザのみ調整を行ってください。
※上部に追加したオートクローザには速度の調整機能はありません。

- ① 小さい（-）ドライバーを使用して、クローザキャップをオートクローザから取外してください。
- ② 表示ラベルにしたがって、門扉速度設定ネジを（-）ドライバーで回して調整してください。



門扉速度設定ネジ
 ・時計まわり：遅くなる（S）
 ・反時計まわり：早くなる（F）


- ③ 調整後、クローザキャップを再び取付けてください。



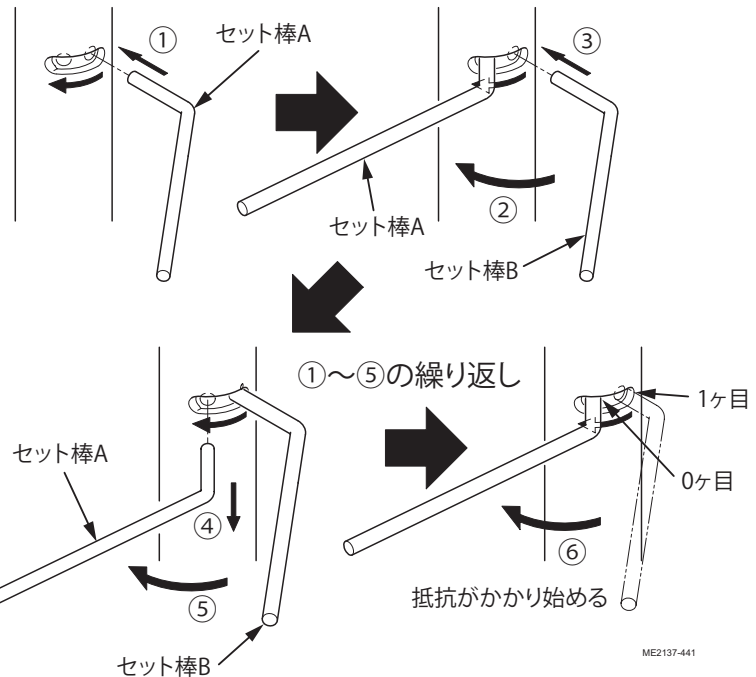
ME2137-303

オートクローザの調整


4-4 初期値が分からなくなってしまった場合

 セットピンが抜け、初期値が分からなくなってしまった場合は、下記の要領で初期値(0ヶ目セット穴)を探してください。

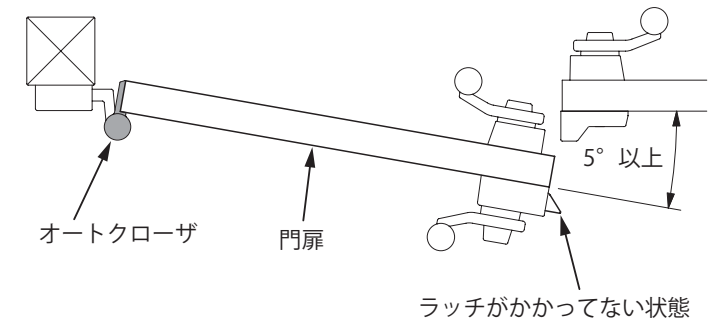
- ① 門扉を閉じた状態で、セット棒 A をあいているセット穴へ差し込んでください。
- ② セット棒 A を巻き込み方向へ回してください。
- ③ 次のセット穴へセット棒 B を差し込んでください。
- ④ セット棒 A を抜いてください。
- ⑤ セット棒 B を巻き込み方向へ少し回してください。
- ⑥ 「手順①～⑤」を何回か繰り返すと、セット棒に抵抗がかかります。抵抗がかかり始めたときにセット棒を差し込んでいるセット穴を0ヶ目としてください。
- ⑦ 引き続き「4-2」・「4-3」の要領で調整してください。



4-5 セットピンを外したまま門扉を開いてしまった場合

 セットピンを外したまま門扉を開閉すると、商品によっては、オートクローザに不具合が生じてしまう場合があります。下記の方法で対処してください。

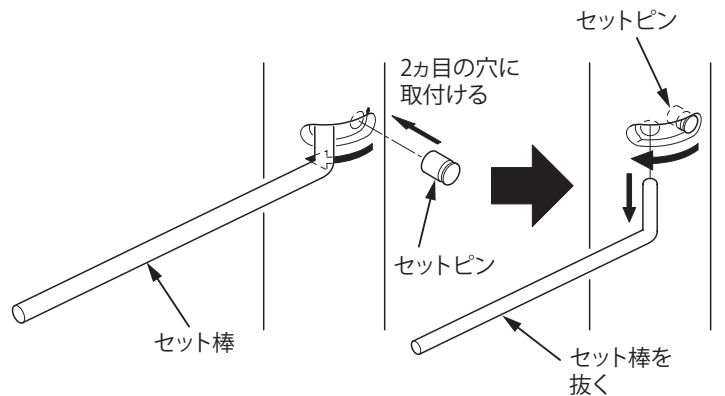
- ① 門扉を5°以上開いてください。(必ず、ラッチがかかっていない状態にしてください。)
- ② ラッチがかかっていない状態で、「4-4」の要領で巻き込み装置を少し回してください。抵抗がかかり始めたとき、巻き込み装置だけが回り、門扉は動かないときはオートクローザは正常です。
- ③ 門扉を閉じて、「4-4」の手順で初期値を探してください。
- ④ 初期値が見つかったら、引き続き「4-2」・「4-3」の要領で調整してください。



巻き込み装置を回すのと同時に門扉も動いてしまうときは、オートクローザに不具合が生じています。下記の手順で対処してください。

【対処方法】

- ① 門扉を閉じて、「4-4」の要領で初期値を探してください。
- ② 0ヶ目のセット穴が見つかったら、さらに巻き込み装置を少し回し、2ヶ目のセット穴にセットピンを取付けてください。(取付後セット棒は抜いてください。)
- ③ 門扉を90°程度、2～3回開閉し、「カチッ」と音が鳴ることを確認してください。(オートクローザが正常に戻ります。この時点で初期値はリセットされます。)
- ④ 門扉を閉じて、「4-4」の要領で再び初期値を探してください。
- ⑤ 初期値が見つかったら、引き続き「4-2」・「4-3」の要領で調整してください。



4-6 トラブルQ & A

●万が一「オートクローザ」の動作に不具合が発生した場合、下記項目をご確認ください。

症状	チェック項目	処置
扉が閉まり切らない。	スプリングを巻き込みましたか？	所定巻数に設定してください。(門扉中に合わせて設定する。)
	上・下クローザのスプリング巻き数は同じですか？	
	上部ヒンジと下部ヒンジとの軸芯は合っていますか？	ヒンジを調整し、軸芯ズレを解消してください。
	門扉の戸先側のチリ寸法は正しいですか？	ヒンジを調整し、チリ寸法を合わせてください。
	速度調整が遅すぎませんか？	速度調整で「F」へ調整してください。
風が強くありませんか？	所定巻数よりも若干スプリングの巻数を増やしてください。	
閉じ速度が早い。	速度調整をしましたか？	速度調整で「S」へ調整してください。
扉が開いていく。	スプリングを逆に巻き込んでいませんか？	スプリングを表示の巻き込み方向へ正しく巻き直してください。
扉開閉時、きしみ音がある。	ヒンジ取付ビス等は緩んでいませんか？	ヒンジ取付ビスの増し締めをしてください。